

## 令和4年度 将棋部の活動方針・活動計画

令和4年7月9日

### 1 指導体制

顧問教諭等氏名		外部指導者氏名	所属・資格	頻度
顧問	近藤 恵	武市 三郎	日本将棋連盟 七段	月1回
顧問	市村 恭子			

### 2 部員数（令和4年7月現在）

1年生：6 2年生：2人 3年生：9人 合計17人

### 3 年間目標

- (1) 専門家の指導を通じた将棋の対局を重ねて、技の向上を目指す。
- (2) 学年を超えた部員間の親睦を図り、望ましい人間関係を築く。
- (3) 礼儀やマナー、思いやりの心と協調性を身につける。

### 4 活動方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
活動が週1回のため、時間を大切にして準備や片づけを迅速に行い、短時間に集中して活動を行う。
- (2) 大会等への参加  
年間に2回、将棋連盟主催の大会に参加する（希望者のみ）。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行や正しい言葉づかいを心がけさせる。また、使用する道具や教室内の整理整頓に努め、大切に取り扱う態度と習慣を身につけさせる。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感、思いやりの心を涵養する。
- (5) 他の活動との両立  
ほとんどの生徒が他の部活動との兼部やクラブチームでの活動、文化的な活動などと並行して活動している。そのため、時間を有効活用して各々の活動に取り組むことができるよう配慮する。

### 5 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言・暴力のない指導  
外部指導員と顧問は、体罰・暴言・暴力的指導や行き過ぎた指導とならないよう、十分に注意して生徒への指導・対応にあたる。
- (2) 生徒間のいじめや暴力行為の禁止  
上級生から下級生へ、また同級生間でいじめや暴力行為が生じないように、日頃から活動の様子に注意を払い、指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が共通理解を図りながら指導と部活動の運営を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮

個々の生徒の心身の発育・発達や技術等を適切に把握して、活動計画を立てる。

(5) 感染症の予防対策

- 活動前後の健康観察と検温、手洗い・手指の消毒を行い、不織布マスク着用の上、生徒間の間隔を空けて活動する。
- 使用した物品（駒や将棋盤）、机といすは、活動後にアルコールタオルで消毒する。
- 教室内の窓を常時開けて換気を行う。
- 活動の参加は強制とせず、体調不良時や感染症に対する不安が拭えない時は、事前に顧問に申し出て欠席してもよい。

## 6 活動計画

(1) 活動日 毎週水曜日（夏休み・冬休み・春休み、定期考査前1週間などを除く）

(2) 活動時間：15時～16時

(3) 活動場所：多目的ホールまたは特活1教室

(4) 年間活動予定

学期	月	内 容
1 学 期	4	ミーティング・保護者会・外部指導員による指導・部員間での対局
	5	外部指導員による指導・部員間での対局 文部科学大臣杯 小中学校将棋団体戦東京大会（今年度は中止）
	6	外部指導員による指導・部員間での対局
	7	外部指導員による指導・部員間での対局
2 学 期	9	外部指導員による指導・部員間での対局
	10	外部指導員による指導・部員間での対局
	11	外部指導員による指導・部員間での対局
	12	外部指導員による指導・部員間での対局
3 学 期	1	外部指導員による指導・部員間での対局
	2	外部指導員による指導・部員間での対局
	3	外部指導員による指導・部員間での対局/ 杉並区中学校将棋団体戦（今年度は未定）

(5) 参加予定大会

文部科学大臣杯 小中学校将棋団体戦東京大会（今年度は出場なし）

杉並区中学校将棋団体戦（未定）